

大垣市

第2次農業ビジョン

～大垣の風土を活かし、市民に親しまれ、未来につながる農業へチャレンジ～

計画期間 令和4年度～令和8年度



令和4年3月

大 垣 市

1

第2次農業ビジョン策定の趣旨

農業従事者の減少・高齢化、耕作放棄地の増加等、農業をめぐる情勢が厳しい中、本市の農業・農村の持続的な発展と安全で良質な食を安定的に供給できる農業を目指すことにより、地域農業振興を図ることが必要です。

こうした中、平成24年に策定（平成29年に改定）した農業ビジョンが令和3年度に計画期間が満了することに伴い、新たに10年後（令和13年）の本市の農業の姿を描き、今後の農業の目指す方向性を示すとともに、施策の充実や強化を図るため、大垣市第2次農業ビジョンを策定するものです。

2

計画期間

■ 令和4年度～令和8年度

計画期間中は、進捗状況の把握に努めるとともに、農業を取り巻く社会経済情勢の変化などにも的確に対応しながら必要に応じて内容の見直しを行います。

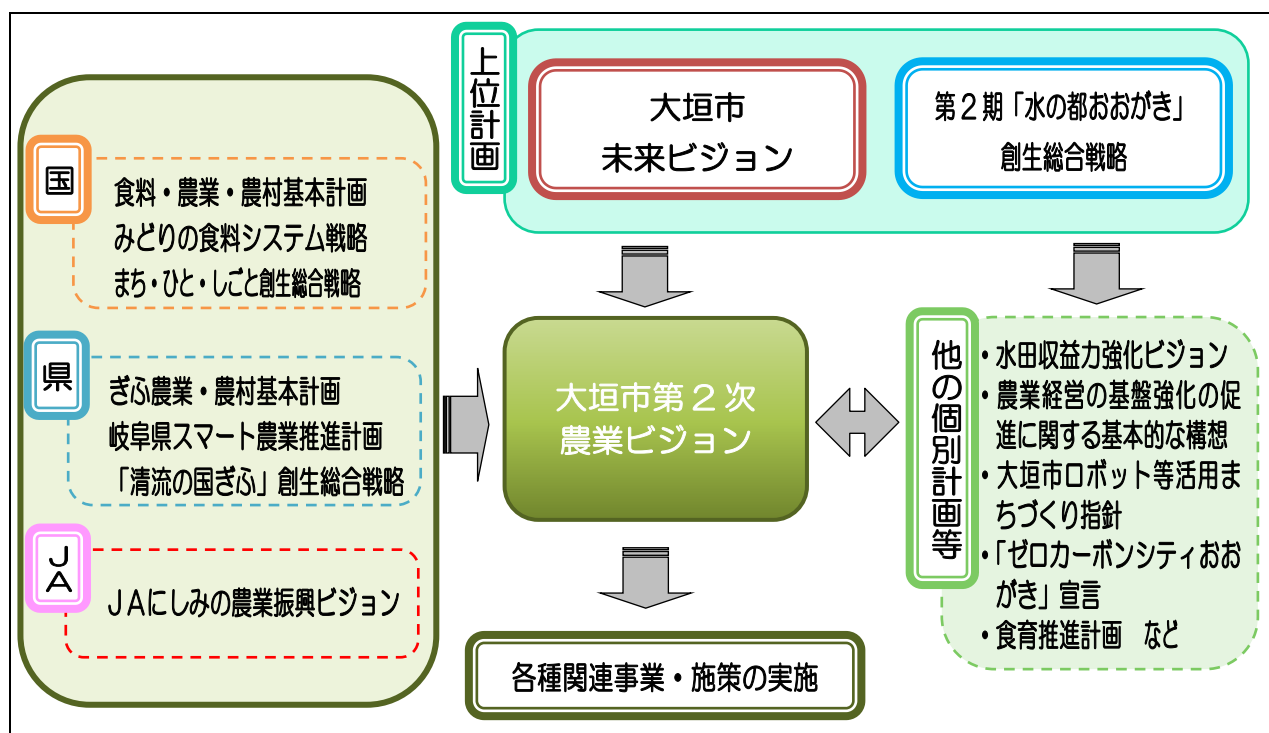
3

位置づけ

このビジョンは、「大垣市未来ビジョン」や「第2期『水の都おおがき』創生総合戦略」を上位計画とし、農業部門の個別計画として、本市の農業施策の方向性を明らかにするものです。

また、国、岐阜県、西美濃農業協同組合の関連計画や市の他の個別計画等とも十分な整合性を図っていきます。

〔第2次農業ビジョンの位置づけ〕



4

持続可能な開発目標(SDGs)との関連



2015年の国連サミットで、全会一致で採択されました「持続可能な開発目標 (SDGs)」を反映した農業を目指します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



5

目指すべき将来像



- ① 多様な担い手の、参加意欲を喚起する農業
- ② 市民が求める農産物を、安定的に提供できる農業
- ③ 生産性の高い農地が確保され、無駄なく活用される農業
- ④ 交流・体験・販売機会増加により、市民に親しまれる農業

6

基本理念

**大垣の風土を活かし、市民に親しまれ、
未来につながる農業へチャレンジ**



大垣地域、墨俣地域及び上石津地域それぞれの特性を活かした農産物の生産を進めつつ、農業にふれあう機会の増加や農業生産の喜びを実感する活動、地産地消を通じて大垣産の農産物への理解を深め、市民に親しまれる農業を進めます。

また、先進的農業による省力化・生産性の向上や農業人材の多様性、人や環境にやさしい生産現場の実現に取り組むことで本市農業の持続可能性を高め、大垣の風土を活かし、市民に親しまれ、未来につながる農業にチャレンジします。

基本方針 1 大垣の農業を支える人の確保・育成

- (1) 中心的な担い手となる人の確保、育成、継承を図ります。
 (2) 定年帰農者、企業、女性、障がい者など多様な人材の参入・参画を図ります。



基本施策	施策の展開方針
(1) 中心的な担い手の確保・育成	未来につながる農業を目指すため、意欲的に経営を行う認定農業者等の中心経営体への支援に加えて、新たに農業にチャレンジする多様な人材を呼び込んで支援することで、地域農業の担い手の確保・育成を進めます。
(2) 多様な人材、企業等の農業参入・参画促進	持続的な農業発展を図るため、認定農業者等の中心経営体だけではなく、定年帰農者や企業、女性、障がい者など多様な人材の農業参画を進めます。

単位施策		指標	基準値 (R2年度)	目標値 (R8年度)
基本施策 (1)	① 認定農業者・新規就農者等の確保・育成 ② 経営継承・雇用就農等の推進	認定農業者数 (人)	66	78
基本施策 (2)	① 定年帰農者・企業等の農業参入 ② 女性・障がい者等の農業への参画	定年帰農者数 (新規) (人)	0	90

基本方針 2 大垣の風土を活かした農業生産の振興

- (1) 需要に応じた米生産をはじめ、地域の特性を生かした農産物の生産を進めます。
 (2) 持続的で環境に配慮した農業を推進し、安心、安全な農産物の生産を進めます。
 (3) 省力化を図り、高品質、高付加価値につながるスマート農業による農産物の生産を進めます。



基本施策	施策の展開方針
(1) 主要農産物の生産振興	本市農業の主体である水稻・麦・大豆をはじめ、梨、ブロッコリー、加工・業務用野菜、カミツレや中山間地に位置する上石津地域で生産されるお茶など特色ある農産物の生産振興を進めます。
(2) 環境に配慮した農業の推進	減農薬、減化学肥料栽培や有機農業、資源循環等による持続性の高い農業を推進するとともに、GAP制度の普及により環境に配慮し、安全・安心な信頼を届ける農業を進めます。
(3) スマート農業の推進	農作業の省力化・効率化や単収の向上・高品質化など生産性向上や大規模化、人手不足、担い手の確保につながるスマート農業技術の導入を進めます。

単位施策		指標	基準値 (R2年度)	目標値 (R8年度)
基本施策 (1)	① 需要に応じた計画的な米づくりの推進 ② 水田フル活用による収益力の強化 ③ 品目別農畜産物の生産振興	ブロッコリーの 作付面積 (ha)	29.6	45.0
基本施策 (2)	① 環境保全型農業の推進 ② G A P 制度の推進 ③ 資源循環農業の推進	ぎふ清流GAP評価制 度活用者数 (経営体)	1	5
基本施策 (3)	① 少ない人材での経営規模拡大の推進 ② 誰もが取り組みやすい農業の推進 ③ 単収の向上や高品質生産等の推進	スマート農業技術 導入件数 (件)	8	27

基本方針 3 大垣の特性に応じた生産基盤づくり



- (1)人・農地プランによる地域での話し合いを進め、未来につながる優良農地を確保します。
 (2)中心的な担い手へ農地集積・集約し農業経営基盤の強化を図ります。
 (3)病害虫や鳥獣害に強い農業や耕作放棄地を生まない農業を目指し、次世代に美しい環境を引き継ぎます。

基本施策	施策の展開方針
(1)優良農地の確保	農産物の生産基盤である農地を担い手へ集積・集約を進めるとともに、安定的な農産物の生産につながる農業用施設の整備・改良を図り、優良農地の確保に努めます。
(2)農地の保全・有効活用	農地を農産物の生産基盤として保全・活用するとともに農地が持つ多面的機能の発揮を図るために、病害虫・鳥獣害対策の実施や農業者と地域住民が一体となった農地の保全・有効活用を進めます。

単位施策		指標	基準値 (R2年度)	目標値 (R8年度)
基本施策 (1)	① 担い手への農地集積・集約の推進 ② 農業生産基盤及び農業用施設の改良・整備	担い手への農地 集積率 (%)	44.5	68.0
基本施策 (2)	① 病害虫・鳥獣害対策の推進 ② 農地保全活動の推進 ③ 耕作放棄地の解消・利活用	耕作放棄地面積 (ha)	9.8	8.0

基本方針 4 市民に親しまれる農業・地産地消の推進



- (1)学校給食等での地元農産物の活用や直売所等での販売促進などにより地産地消を推進します。
 (2)地元農産物の加工品の開発促進や販路拡大などにより付加価値の向上を図ります。
 (3)農業にふれあう機会の充実や生産者と消費者との交流を深め、市民の農業に対する理解を深めます。

基本施策	施策の展開方針
(1)地元農産物の活用促進・ 高付加価値化	学校給食等における地元農産物の利用を推進するとともに、地元農産物の加工による高付加価値化及び地元農産物、6次産業化商品の販売促進を図ります。
(2)生産者と消費者との交流の 促進	市民に親しまれる農業を実現するため、地元で生産された農産物・6次産業化商品の情報提供や消費者等を対象とした農業体験を促進するなど、生産者と消費者等の農業にふれあう機会の充実を図り、大垣の農業への理解と愛着を深めます。

単位施策		指標	基準値 (R2年度)	目標値 (R8年度)
基本施策 (1)	① 学校給食等における地元農産物の利用 ② 地元農産物を利用した加工品開発の推進 ③ 地元農産物・6次産業化商品の販売促進	6次産業化品目数 (件)	7	12
基本施策 (2)	① 地元農産物に関する情報発信 ② 農業にふれあう機会の充実	農業体験学習等参 加者数 (人)	36	300

Ogaki city Agricultural products MAP

OGAKI 大垣地域

主な農産物

米(ハツシモ)、
ブロッコリー、さといも、梨、
カミツレ、ひまわり、
マコモタケ、いちご、
しいたけ、わさび、肉牛、
牛乳、ハチミツ

大垣市の農業と 特産農産物

本市では、岐阜県内で最も多く作付されて
いる米「ハツシモ」をはじめ、特色のある
農産物が生産されています。

KAMIISHIZU 上石津地域

主な農産物

米(コシヒカリ)、
茶、卵、しいたけ
アシタバ、
ハチミツ



SUNOMATA 墨俣地域

主な農産物

米(ハツシモ)
ブロッコリー

